

# 市民並びに笠岡市を支援してくださった全ての皆様へ

このたびの平成30年7月豪雨災害により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

今回の豪雨は、笠岡市の市制施行以来最大の豪雨災害となり、観測史上初となる大雨特別警報が発令されました。2日間で360mmを超える雨が降り、尾坂川が80mにわたり決壊、小田川堤防が越流し、市内で170戸を超える家屋の床上浸水、450ヶ所以上の土砂崩れが発生しました。本当に悲惨な出来事でしたが、逆に笠岡市は多くのことを学びました。今後20年30年先まで役立つ大きな「学習」をしました。

自然災害が発生すれば行政は消防団や自主防災組織と一丸となって、注意喚起、避難勧告、避難指示や避難所の運営等、市民の生命を最優先して守ります。しかし、大きな自然災害が起きれば被害も大きく、被災した市民は先祖から何十年何百年かけて築いた財産を一瞬のうちに失い、避難所生活を余儀なくされ、不自由な状態となります。被災した市民に「1日でも早くまた普通の生活に戻ってほしい」と願いつつも、行政のマンパワーにも財源にも、そして法律にも限界があります。

そのような中、全国から延べ1,900人のボランティアの方々がかけつけて、被災家屋の泥かき、畳・家具・衣類・家電品等被災家財の搬出、清掃など、被災地の復旧支援をしてくれました。また、全国から届く支援物資を必要な被災者のもとに届けてくれました。大きなお力添えをいただいた皆様方に深く感謝を申し上げる次第でございます。

被災された皆様が一刻も早く元の穏やかな生活を取り戻すことができるよう、国や県、関係機関とともに復旧・復興に全力で取り組んでまいります。引き続き関係各位のご支援ご協力をお願いいたします。



笠岡市長 小林 嘉文